

Medical Management Specialist MMS NEWS

2014 8月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

「医療経営士」資格認定試験 結果速報

第7回 2級試験 72人合格
第12回 3級試験 588人合格
3級受験者1310人で過去最多!

一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事・吉原健二)は6月15日、第7回「医療経営士2級」資格認定試験を実施した。全国8会場で257人が受験、72人が合格した。

2級合格者累計316人に!

受験申込合計282人のうち257人が受験(受験率91.1%)し、72人が合格した(合格率28.0%)。第1・第2両分野合格が条件。受験者の種別構成(年齢別)(図1)

受験者は、39歳以上の39歳以下の106人が最多。一方、合格者は、40歳以上49歳以下が最多(36人)となり、合格者の半分をこの年代が占めた。

北海道は、受験者数は10人で、上位5都道府県には入らなかったものの、合格者の割合が高く、合格者数では3位(6人)にランクされた。北海道の受験者のレベルの高さやかわせる結果となった。

◆第7回「医療経営士2級」資格認定試験 結果概要

Table with 4 columns: 受験申込者数(人), 受験者数(人), 合格者数(人), 合格率. Rows include 両分野受験(3級取得者), 第1分野受験, 第2分野受験, and 合計.

\*1:「3級」取得者で、第6回試験までに、「2級」第2分野合格証明書を取得した者
\*2:「3級」取得者で、第6回試験までに、「2級」第1分野合格証明書を取得した者

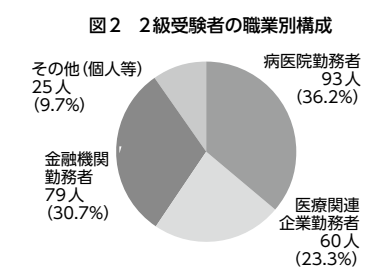
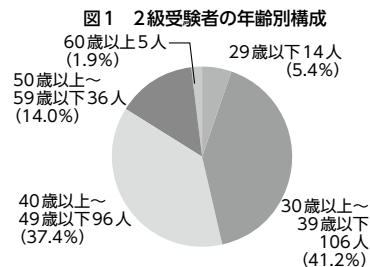


Table 1: 2nd level examinees by prefecture. Table 2: 2nd level合格者 by prefecture. Lists top 5 prefectures for both groups.

7月18日新創刊! 現場で活動する医療経営士視点でつくり、医療経営士を元気にする 医療経営士「月刊医療経営士」

Magazine advertisement for '月刊医療経営士' (Monthly Medical Management Specialist). Includes points about field perspectives, career advancement, practical skills, and social skills. Features a cover image and a testimonial from a member.

創刊号の誌面内容 【特集】実践・医療現場で味方をつくる秘訣!! 病棟に仲間はいませんか? 月刊医療経営士 年間購読 最新号~1年(12回) 会員価格:9,000円(税込) 月刊医療経営士 創刊号(2014年8月号) 定価:800円(+税)

### 第12回「医療経営士3級」資格認定試験 3級合格者累計3759人に!

受験申込合計1519人のうち1310人が受験(受験率86.2%)し、588人が合格した(合格率44.9%)。

◆受験者の種別構成(年齢別)(図3)  
受験者、合格者とも、30歳以上39歳以下が最多(受験者数492人、合格者数227人)。次いで40歳以上49歳以下(受験者数421人、合格者数191人)。この順位は、第1回、第12回累計と同様である。

(職業別)(図4)  
受験者、合格者とも、金融機関勤務者が過半数を占める(受験者数857人、全体の65.4%、合格者数349人、全体の59.4%)。



2級資格認定試験は全国8会場、3級資格認定試験は全国19会場で実施された(写真は2級試験東京会場)

#### ◆第12回「医療経営士3級」資格認定試験 結果概要

受験申込者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
1,519	1,310	588	44.9%

#### ■2014年度 資格認定試験日程

「医療経営士3級」  
【第13回】2014年10月26日(日)  
【第14回】2015年2月15日(日)

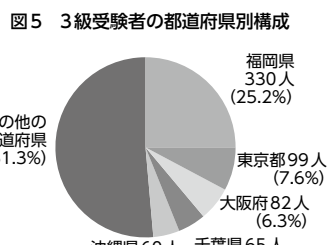
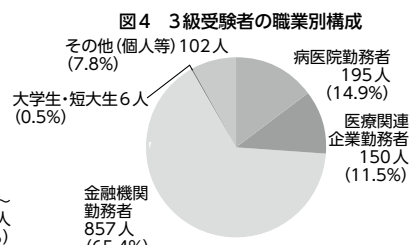
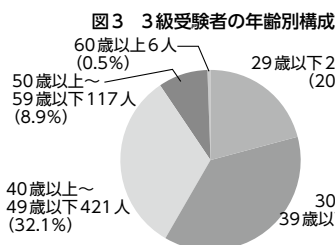
「医療経営士2級」  
【第8回】2014年10月26日(日)

「医療経営士1級」  
【第2回】  
第一次試験 2014年9月7日(日)  
第二次試験 2014年11月30日(日)

病医院勤務者は、受験者数195人(全体の14.9%)、合格者数97人(同16.5%)。(都道府県別)(図5)  
受験者全体では、福岡県が330人で最多。次いで、東京都99人、大阪府82人、千葉県65人、沖縄県60人。合格者では、福岡県が125人(合格者全体の21.3%)で最多。以下、東京都50人(8.5%)、千葉県38人(6.5%)、愛知県31人(5.3%)と続く。

金融機関による団体受験の申込が、順位に大きく影響した結果となった。

\*その他、試験結果の詳細は本協会ホームページを参照されたい。



### 第2回「医療経営士1級」資格認定試験の エントリーが8月4日で締切

9月7日(日)に東京で実施される第2回「医療経営士1級」資格認定試験・第一次試験のエントリーを受付中だ。

昨年9月8日(日)に東京で実施された第1回試験では、第一次試験(短文記述形式10問/論文記述形式2問)に18人が挑戦(内訳は表1参照)。そのうち8人が12月1日(日)実施の第二次試験(プレゼンテーション形式)の口頭試問および人物評価を主とした面接に進み、7人が見事合格を果たした。その後の資格認定審査を経て、今春5人の医療経営士1級が誕生している。

第一次試験は短文記述と論文記述の2つに分かれる。短文記述問題(90分)は、表2のA、B、Cから全10問が出題され、決められた文字数に従い、解答する。論文記述問題(90分)は、出題数が全2問で、昨年の第1回試験では、与えられた7つのキーワードをすべて用いながら解答をまとめるという問題などが

出題された。出題の意図を把握し、具体的な対策を立案しなければならず、より総合的な実践的な経営力が求められる。

昨年、第一次試験終了後、何人かの受験者に感想をうかがったところ、短文記述問題に關しては、「医療経営士上級テキスト」全13巻の内容をしっかりと理解していれば、必ず解答できる良問揃いとの声がかかれた。一方、論文記述問題に關しては、「多角的な面から経営力を語る問題が出題された」論文を書くのは20年ぶりで、頭の中で論理を展開しても手が追いつかない「将来を見据えた病院像など具体的なストーリーが描けない」と対応できない「など、大きな壁にぶつかった受験者もいたようだ。第二次試験のプレゼンテーションも含め、医療経営士1級にふさわしい、より高度な専門性と実践力が問われる。

エントリーの締切は8月4日(月)。2級会員からの積極的なチャレンジを期待したい。

9月7日(日)に東京で実施される第2回「医療経営士1級」資格認定試験・第一次試験のエントリーを受付中だ。

昨年9月8日(日)に東京で実施された第1回試験では、第一次試験(短文記述形式10問/論文記述形式2問)に18人が挑戦(内訳は表1参照)。そのうち8人が12月1日(日)実施の第二次試験(プレゼンテーション形式)の口頭試問および人物評価を主とした面接に進み、7人が見事合格を果たした。その後の資格認定審査を経て、今春5人の医療経営士1級が誕生している。

第一次試験は短文記述と論文記述の2つに分かれる。短文記述問題(90分)は、表2のA、B、Cから全10問が出題され、決められた文字数に従い、解答する。論文記述問題(90分)は、出題数が全2問で、昨年の第1回試験では、与えられた7つのキーワードをすべて用いながら解答をまとめるという問題などが

表1 第1回「医療経営士1級」資格認定試験・第一次試験 受験者内訳(男性16人/女性2人)

●勤務先		●年齢別	
医療法人理事長	1人	30代	5人
医療機関勤務者	13人	40代	7人
コンサルタント	2人	50代	4人
医療機器メーカー勤務者	1人	60代	2人
介護事業経営者	1人		

表2 第一次試験出題範囲

A「病院経営戦略論(Ⅰ)」	B「病院経営戦略論(Ⅱ)」	C「病院経営戦略論(Ⅲ)」
1. 病院経営戦略論	1. 医療ガバナンス	1. DPCによる戦略的病院経営
2. バランス・スコアカード	2. 医療品質経営	2. 経営形態
3. クリニカルパス/地域医療連携	3. 医療情報セキュリティマネジメントシステム	3. 医療コミュニケーション
4. 医工連携	4. 医療事故とクライシス・マネジメント	4. 保険外診療/附帯業務
		5. 介護経営

## 第2回 医療経営士1級 資格認定試験 受験エントリー受付中! 8月4日(月)まで

<h3>試験日</h3> <p>第一次試験 <b>9月7日(日)</b> 第二次試験 <b>11月30日(日)</b></p> <p>■受験エントリー期間 7月4日(金)~8月4日(月) ■受験料支払締切日 8月8日(金)</p>	<h3>受験料</h3> <p>50,000円(税込) *1 第一次、第二次試験及び資格認定審査を含む *2 次年度以降、資格認定審査のみ受験の場合は2万5,000円</p> <h3>試験形式</h3> <p>【第一次試験】 ①短文記述形式(10題・90分) ②論文記述形式(2題・90分)</p> <p>【第二次試験】 面接試験 ①口頭試問(プレゼンテーション形式) ②個人面接</p> <p>資格認定には審査要件があります。詳細は当協会ホームページにてご確認ください。</p>	<h3>試験会場</h3> <p>東京(千代田区)</p> <p>第1回試験合格者の声を、当協会発行『MMSニュース2014年2月号』、「理論と実践No.11」に掲載しております。ご覧ください。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------



日本医療経営実践協会

# NEWS & TOPICS

## 2014年度上期理事会・社員総会を開催

本協会は6月26日(木)、2014年度上期・第10回理事会ならびに第4回定時社員総会を開催した。

理事会では、2013年度の事業報告および決算報告が事務局より説明されるとともに、2014年度の事業計画案および収支予算案について審議・決議された。また、理事会開

催後の社員総会において、前記決議案がすべて承認された。

## 第8回「医療経営士2級」第13回「医療経営士3級」資格認定試験エントリー 8月6日より受付開始

10月26日(日)に実施する第8回「医療経営士2級」資格認定試験の受験エントリーを、8月6日(水)より開始する。エントリーの締め切りは9月9日(火)。

受験料、試験時間、試験内容などの詳細は、本協会ホームページの2級試験概要を確認いただきたい。  
なお、第8回「医療経営士2級」資格認定試験と同日に開催され

る第13回「医療経営士3級」資格認定試験の受験エントリーも、同スケジュールで受け付ける。

## 日本医療経営実践協会中国支部が発足!

7月1日(火)、メ

ルパーク広島において日本医療経営実践協会中国支部発起人会が開催され、「中国支部」が設立された。

中国地方はこれまで、関西支部ならびに九州支部が会員活動をカバーしてきたが、広



日本医療経営実践協会中国支部・設立記念パーティー

島県、岡山県を中心に会員数を伸ばしている同地方に全国6番目の支部として中国支部が設立されたことで、より一層幅広い活動が期待される。発起人会で選出され



た役員は次のとおり。

【支部長】 梶原四郎(医療法人 清風会理事長)

【理事】 土井章弘(一般財団法人探風会岡山旭東病院院長) 大田泰正(社会医療法人祥和会理事長) 発起人会には支部役

員のほか、協会本部より小林利彦代表理事代行、林諄理事、須田清監事の3役員が出席。中国支部の活動に対して、協会本部としても全面的に協力することとなった。

発起人会終了後には、支部役員、本部役員とともに、中国地方の会員、医療関係者を集めた設立記念パーティーも開催。終始和やかな雰囲気の中で、同じ地域で活躍する医療経営士同士が親睦を深めた。

◆中国支部連絡先 株式会社日本医療企画 九州支社内 TEL:09241812008

## 配布用のMMSニュースを無料でお送りいたします!

会員サービスの一環として毎月発行している本紙MMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動のアピール資料としても、ご活用いただけると思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は、下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡いただいた段階で調整させていただく場合がございます)。

皆様のご応募をお待ちしております! お申し込み▶E-mail info@jmmpa.jp

# 医療・介護・福祉分野の経営人材を輩出する **HC**ヘルスケア経営学院 eラーニング校

## 現在12講座開講! 随時受付中

### 5大ポイント

- 実務経験豊かな講師による、わかりやすい講義!
- 図表を多く使用したスライドで、理解しやすい!
- 初学者でもわかりやすく、研修に最適!
- 受講期間(視聴可能期間)内なら、何度でも受講OK!
- 現場に即した内容だから、実践力が身につく!

今すぐアクセス! <http://www.hcme-e.jp/>

新講座 8月上旬開講!

## 今すぐできる! BCPの実効性を高める 災害対応シミュレーション

講師: 浅野 睦 (株式会社フォーサイトコンサルティング代表取締役社長 一般財団法人リスクマネジメント協会理事)



### 受講料

日本医療経営実践協会 会員価格 2,300円(税別) 一般価格 4,300円(税別) (受講料にはテキストとしての書籍代は含まれません)

受講期間 180日



第3回「全国医療経営士実践研究大会2014京都」大会プログラムが決定

# 地域包括ケアシステムの提唱者 山口昇氏が基調講演

## 医療の大変革は、ここから始まる!

続々と詳細が固まりつつある第3回「全国医療経営士実践研究大会」において大会プログラムが決定した。期待感が膨らむ中、講演内容を中心に今大会の見どころを紹介する。

全国の医療経営士は秋の京都へ集え!

第3回「全国医療経営士実践研究大会」は、第2回大会に続き2日間日程で開催。初日は公立みつき総合病院（広島県尾道市）の名誉院長で特別顧問の山口昇氏による基調講演「地域包括ケアシステム」で幕を開ける。

山口氏は、70年代に公立みつき総合病院のある広島県御調町で、高齢者の「寝たきりゼロ作戦」を開始。保健・医療・行政の連携による地域包括ケアシステムを初めて提唱し、その構築に尽力した人物である。試行錯誤の末に多くの課題をクリアして実現した「御調町モデル」についての講演は、医療経営士に限らず、多くの医療・介護関係者にとって学ぶべきことが多い内容になるはずだ。

続くプログラムでは、月刊誌『最新医療経営フェイクス・スリー』（日本医療企画）の清水大輔編集代表を座長に、新仁会グループヘルスケアパートナーズ株式会社取締役の太田憲宏氏とペガサスグループ社会医療法人ペガサス理事・局長の田中恭子氏を迎え、「地域における病院経営 民間病院の事業戦略」をテーマにした対談が行われる。地方の民間中小病院の経営環境がますます厳しさを増す中、生き残りを賭けてどのような事業戦略が求められるのか、実践事例を交えながら、意見を交わしていただく予定だ。

特別講演「胃ろうの功と罪 延命治療いつやめますか?」では、長尾クリニック院長で日本尊厳死協会関西支部長の長尾和宏氏が登壇。「平穏死」10の条件（ブックマン社）、「医療否定本」に殺されないための48の真実（扶桑社）ほか数々のベストセラーの著者としても知られる長尾氏に、在宅医として数多くの患者を看取ってきた経験から、終末期医療の現状と展望についてお話しいただく。

魅力ある講演から課題解決のヒントを学ぶ

パネルディスカッションは、前述の長尾氏、社会医療法人財団董仙会理事長の神野

第3回「全国医療経営士実践研究大会」プログラム内容（7月15日現在）

第1日目:11月2日(日)
<b>開会挨拶</b> 吉原健二(一般社団法人日本医療経営実践協会代表理事)
<b>大会運営委員長による開会のことば</b> 清水鴻一郎(衆議院議員、京都私立病院協会会長、日本医療経営実践協会関西支部支部長、医療法人清水会理事長)
<b>基調講演</b> 「地域包括ケアシステム」 山口 昇(公立みつき総合病院名誉院長・特別顧問)
<b>対談</b> 「地域における病院経営 民間病院の事業戦略」 (演者) 太田憲宏(新仁会グループヘルスケアパートナーズ株式会社取締役) 田中恭子(ペガサスグループ社会医療法人ペガサス理事・局長) (座長) 清水大輔(最新医療経営フェイクス・スリー編集代表)
<b>特別講演</b> 「胃ろうの功と罪 延命治療いつやめますか?」 長尾和宏(長尾クリニック院長、日本尊厳死協会関西支部長、日本慢性期医療協会理事)
<b>パネルディスカッション</b> 「経営視点・現場視点の落とし穴 入院～在宅に架けるべき橋」 (座長) 清水鴻一郎(衆議院議員、京都私立病院協会会長、日本医療経営実践協会関西支部支部長、医療法人清水会理事長) (パネリスト) 神野正博(一般社団法人日本医療経営実践協会理事、日本医療経営実践協会北陸支部支部長、社会医療法人財団董仙会理事長) 長尾和宏(長尾クリニック院長、日本尊厳死協会関西支部長、日本慢性期医療協会理事)ほか
<b>懇親会</b> 全国医療経営士 情報交換会

第2日目:11月3日(月・祝)
<b>発表にあたって</b> 「経営改革に向かう医療経営士とは」 川淵孝一 審査委員長 (東京医科歯科大学大学院教授)
<b>研究発表会</b> 「医療経営士による演題発表」 [審査委員長] 川淵孝一(東京医科歯科大学大学院教授) [審査委員] 中村彰吾(独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事・経営企画局長) 大村武久(日本医療経営実践協会関西支部理事、医療法人社団甲友会理事長) 神野正博(一般社団法人日本医療経営実践協会理事、日本医療経営実践協会北陸支部支部長、社会医療法人財団董仙会理事長)
<b>特別講演</b> 「病院と看護部による 二重構造が病院経営を脅かす」 山根哲郎(松下記念病院院長、松下看護専門学校校長)
<b>閉会式</b> 「表彰式」 ・川淵孝一審査委員長による総括/入賞者発表・表彰 ・次回大会運営委員長による閉会の言葉 神野正博(一般社団法人日本医療経営実践協会理事、日本医療経営実践協会北陸支部支部長、社会医療法人財団董仙会理事長)

正博当協会理事ほかパネリストとして登壇予定。今大会の運営委員長を務める清水鴻一郎関西支部支部長を座長に迎え、「経営視点・現場視点の落とし穴 入院～在宅に架けるべき橋」をテーマに議論していただく。医療経営の第一線で活躍される諸先生方の示唆に富んだ発言に期待したい。

2日目は大会のメインプログラムである「医療経営士による演題発表」のあと、松下記念病院院長の山根哲郎氏による特別講演「病院と看護部による二重構造が病院経営を脅かす」が行われ、演題発表の入賞者発表・表彰を経て閉会を迎える。参加する医療経営士には、演題発表に大いなる刺激を受け、講演から一つでも多くのことを学び、自身が活動する現場へフィードバックしてほしい。

回を追うごとに内容が充実する全国大会。数多くの医療経営士の参加を期待している。

第3回  
全国医療経営士  
実践研究大会  
京都大会

医療・介護に留まらない  
拡大連携のビジョン

# 地域をデザインする医療経営士

—医療機関の大変革期 活路を切り開く提案—

事前参加登録受付中!

今なら早期割引料金です(7月31日まで!)  
日本医療経営実践協会会員および会員申請者  
15,000円(20,000円)  
※2日間参加の場合 ※( )は、通常料金

2014年

●会場=メルパルク京都  
(JR京都駅前 烏丸中央駅前ロータリー東側に隣接)

●大会運営委員長  
清水 鴻一郎

衆議院議員  
京都私立病院協会会長  
日本医療経営実践協会関西支部支部長  
医療法人清水会理事長

演題・論文発表者募集中!

医療経営士としての実践活動・研究成果をPRする場です  
我こそはと思う医療経営士の挑戦をお待ちしております!!

# 11月2日(日)・3日(月・祝)